イクボス ～スタッフのワーク・ライフ・バランスを応援し育てる～

【講師】竹下　小百合さん

1978 年（昭和 53 年）宮城県仙台市生まれ。2013 年（平成 24 年）ママ起業家のイベント参加をきっかけに、夫婦・パートナーカウンセラーとして企業。2015 年（平成 26 年）秋田発祥、つながる・広がる女性の笑顔「Venus Club」仙台支部設立、代表就任。2016 年（平成 28 年）特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン東北設立、監事就任。翌年代表理事就任。全国初女性代表理事。人生の出来事に捕らわれず、心身共により良い生活を送れるよう相談するライフケアコンサルタント®。

【講演概要】

イクボスとは

職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランス（仕事と私生活の両立）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果も出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しめる上司（経営者・管理職）のことを指す。

イクボス実践のために

◆コミュニケーション力を高めスタッフに寄り添う

部下の属性（例：独身、介護者など）の他に、私生活情報＋アルファを共有することで、仕事上で頼めることと頼めないことの判断材料になる

◆業務改善する

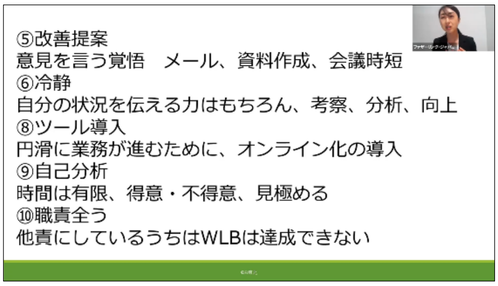
資料は事前配布して各自読んでくることを前提で会議を進める、メールは短く簡潔に結論を先にする、資料は表現やこだわりより簡素化を目指すなどして時間泥棒を退治する

◆仕事の仕方（内容）を見つめ直す

・業務を作業で把握する　・必要か不要かを分別する　・効率化する

イクボスになるための部下ヂカラ 10 カ条

①連携…得意分野で役割分担をするなど周囲と連携する
②コミュニケーション…意思疎通を深め、認識のずれを防ぐ
③見える化…互いの仕事量や進捗状況を理解する
④予定先取り…不測の事態に備え、業務は前倒しで進める
⑤改善提案…現場目線の改善策を上司に働きかける
⑥冷静…冷静かつ客観的に自分の状況を伝える
⑦垣根越え…部署を超えて協力できるネットワークを構築する
⑧ツール導入…効率化に役立つツール（道具）を活用する
⑨自己分析…自分にしかできない業務と人に任せられる業務を見極める
⑩職責全う…権利を主張するだけでなく、しっかり職責を果たす



＊＊＊受講生の感想＊＊＊

・イクボスは何でもできる人ではないといけないようなハードルの高さを感じていたが、部下ヂカラ 10 か条の延長線上にあるとわかり納得できた。